



くぼたつ

久保田達也(くぼた・たつや)：冒険家、NAPU大学名誉人文学博士、ラジモア大学教授、工学院専門学校インターネット科特別講師、日経新聞ビジネスセミナー常任講師。

くぼたつ新刊『これでいいのだIT革命』 あとがき

一冊の本を書き終えて、いつも思うことは「次こそしようと」簡単に夢膨らませることだ。書き終えた開放感がアイデアを放出させるのだろう。しかしこれまたいつものことながら書けるまでネタが溜まるのに1年ほどかかってしまうのだ。「こんなはずじゃなかった、もっと簡単に書けると思ったのになぁ」と、こういう遠い道のりを毎度、毎度、繰り返しているのが僕だ。モノ書きとしてはだめなやつの部類なのかもしれない。締め切りはいつもぎりぎり、直し直しの連続、ちっとも原稿が進まないことだってある。最悪なときには根本的に構成案をひっくり返してしまうことだってある。編集長泣かせな存在なのだ。僕は時流を先取りしてタイムリーに出版する売れっ子ライターになれない。むしろその反対だ。とにかくそれをやってみて、納得した。ネタが溜まるまで書かない駄目ライターなのだ。

インターネットの活用本が本屋の平台を埋めてゆくときも、まだまだ原稿を1ページも書けないでいた。次から次と矢継ぎ早に世に出てくる新技術、新サービス、新ビジネスを実際に確認することは気の遠くなるような時間がかかるからだ。同じサービスをいろいろなビジネス視点でチェックしてから、自分が自由自在に使いこなすようになるまで「疾駆八苦」しながらのかっこ悪いあえぎ進行が僕には性にあっていいるのだ。ちょうど山登りにたとえると、ロープウェイで楽チンに頂上に立つのと、テクテク歩いて同じ地点に登頂するとの違いみたいなものだ。まあ僕は頂上に立つことよりも、回りの景色や木々を眺めて登るトレッキングが好きなのだ。そんな風にインターネットを使うことで、その応用や独自の使い方、アイデアが発酵してくるのを楽しんでいる。だから活字になるまでに時間がかかる駄目ライターなのだ。僕はそれでいいと思っている、これからもそうやってぶきゅちゅなネットワークで行こうと思っている。それでも、そんな回り道したおかげでやっとインターネットを使うと何ができるのかが見えてきたような気がする。とどのつまり、インターネットは試行錯誤の冒険世界そのものなのではなからうか？ この本はそんな僕の軌跡なのだ。先日、50代以上の管理者向け講演で「インターネット



『これでいいのだIT革命』
久保田達也 著
発行 / インプレス
発売 / インプレスコミュニケーションズ
定価 (本体1,300円 + 税)

は人を幸せにするか」と質問された。僕は「インターネットは電話と同じ。電話が人を幸せにするかとは考えないはずだ。人には喜怒哀楽があり、恋が生まれたり消えたりする。インターネットは打ち出の小槌ではない」と答えた。20～30代のビジネスマンは「上司の理解が得られないからネットビジネスなどできない」と結論付けてくる。僕は「組織や上司を愚痴ってもだめ。アイデアをインターネットで実現するのは個人の能力。必要なのはたった1人の挑戦さ」と言う。ところが、17～20歳の高校、大学、専門学校の講演では「くぼたつさんのお話は私達の考えと同じで、安心しました」「インターネットでこんなビジネス考えてます」とバンバン提案メールを送ってくる。そうなのだ。僕は、10代の連中こそがインターネットを使いこなす才能を開花させると信じている。我々の使命は急ピッチでその準備をすることではないだろうか。この本はそういう想いで書かれたものなのである。

世に出ることのなかった表紙「お笑いくぼたつバージョン」をこっそり公開。下記URLにアクセスしてみよう!

internet.impress.co.jp/kubotatu/



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp